

西洋古典学研究 LXII

| | |
|---|---------------------------------|
| 芳賀京子：アゴラクリトス作《ラムヌスのネメシス》……………(1) | —台座浮彫の解釈と神像の意味— |
| 太田和則：線分の比喩における可知界の区分……………(13) | —プラトン『国家』509d6-511e5— |
| 金山弥平：ソクラテスの最後の言葉……………(24) | |
| 田中あや：名前の規約説と本性説……………(39) | —プラトン『クラテュロス』433c-435dの解釈をめぐって— |
| 篠原道法：前4世紀以降のアテナイにおける外国人の 社会進出と自己表現……………(51) | —墓碑の分析を通じて— |
| 日向太郎：キュンティアの亡霊……………(65) | —プロペルティウス第4巻第7歌— |
| 西村洋平：プロティノス感覚論における非受動と共受動……………(78) | |
| 南雲泰輔：ルティリウス・ナマティアヌスとクルスス・プブリクス ……(91) | —後期ローマ帝国における公的伝達システム運用の一側面— |
| 書評：戸祭哲子 小池登 小林標 日向太郎 小池和子 吉田俊一郎 藤沢桜子 岡田泰介 内川勇海 安井萌 阪本浩 大谷哲 丸橋裕 稲村一隆 川本愛 田子多津子 和泉ちえ 伊藤紗耶……………(103) | |
| 英文要旨……………(151) | |
| 古典学関係文献目録……………(163) | |
| 寄贈書・交換雑誌……………(183) | |
| 日本西洋古典学会第64回大会記その他……………(185) | |